



金ケ崎町子育て支援センターちびっこひろば

ちびっこひろばだより7月号

令和3年 7月1日(木)発行
 社会福祉法人愛護会 金ケ崎町子育て支援センター
 金ケ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700
Eメールkosodatesien@aigokai.jp (ファックス番号が変更になりました。)

梅雨の季節となりました。体調管理に気を付けて、これからの暑い季節に備え、こまめな水分補給を行い、元気に過ごしましょうね。先月、ミニトマトの苗植えを行い、毎日のようにじょうろにお水を汲んで、こぼしながらも頑張っている子どもたちの姿が見られます。これからのミニトマトの生長がとても楽しみです。

また、元気に飛び回っているツバメさん・スズメさんの巣がとうとう完成し、子ども達・鳥さんの元気パワーでいっぱいの子育て支援センターです。沢山のお友達の来所を、スタッフみんなで楽しみに待っております。

《7月の行事とお知らせ》



月	火	水	木	金	土
			1	2	
			チュールリップ 広場開催日(午前のみ)となります。対象のお友達以外の利用はできません。	2 びよびよ 保健指導員相談日	町内各地域の子育てサークル活動に参加してみたい！というお家の方は、子育て支援センターにぜひお電話を下さいね。お待ちしております。
5 永岡サークル 「ながままサークル」	6	7 午前 チュールリップひろば	8	9 とことこ 	
12	13 南方サークル 「はあと♥ママ」	14	15	16 びよんびよん	17 三ヶ尻サークル 「こっこクラブ」
19 	20 チュールリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の利用はできません。	21 午前 チュールリップひろば 午後 チュールリップひろば	22 海の日・閉所	23 スポーツの日・閉所	24
26	27	28	金ケ崎町子育て支援センターは、金ケ崎町立西小学校西側にあります。 ☆ 月～土曜日まで(祝祭日は除く) 10時～16時まで無料開放しています。 ☆ 子育てについてのメール・電話相談を受け付けております。お気軽にご利用ください。		

<7月の主な行事>(10時30分頃～11時30分頃まで)

- ☆7月 2日(金) びよびよ(主に0歳児対象)
保健指導員相談日
- ☆7月 9日(金) とことこ(主に1歳児対象)
- ☆7月 16日(金) びよんびよん
(主に2歳児対象)



金ケ崎町子育て支援センターの利用について

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・来所時の健康状態等についての確認、検温をお願いします。
- ・お弁当の持ち込みは、お休みとなっています。ご協力をお願いします。

センター利用につきましては、金ケ崎町の対応により、利用の制限がある場合があります。金ケ崎町のホームページ等をご確認の上、ご利用ください。また、支援センターの行事等の開催状況については、毎月発行の「ちびっこひろばだより」や支援センターブログ、ホームページのスケジュール等でお知らせしますので、ご確認ください。



月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

(2歳ころ) 着脱への対応 ~自我を受け止めて~

- 着脱の場面でも「ジブンテ」を主張し、時間がかかることが多くなります。自我の拡大から充実の時期の対応として、「自我を受け入れ自分でできたことを認める」というように丁寧に関わっていくことが大切です。

● 「ジブンテ」を受け止めて

大人に手伝われるのを嫌がり、自分でやろうとしているときには、ゆったりとした気持ちで接し、まずは子どもに任せましょう。その中で、うまくいかず不機嫌になったり、やってほしがったりするときには、援助していきます。

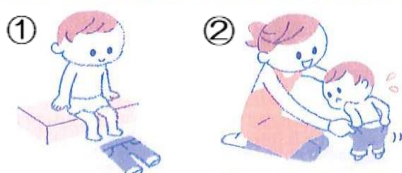


● 「自分でできた！」満足感を

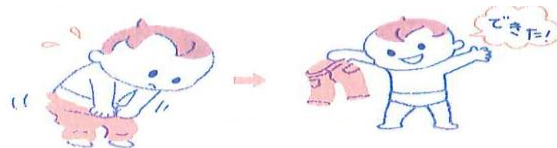
援助はさりげなく行うことで、「自分でできた！」という満足感、自信を得られるようにすることが大切です。着脱のスタートとしては、ズボンをはくことから行うとよいでしょう。

ズボンをはく 座って、ズボンに自分で足を入れて立ち上がり、上にあげます。

- ①まず、はきやすい向きにズボンを置きます。
- ②上に上げるときは、「ギュツ、ギュ」と声をかけたり、やりにくいおしりの部分だけ手を貸したりします。



ズボンを脱ぐ 立った姿勢で、大人が腰のあたりまでズボンを下げ、その先は自分で下までおろし、足を外します。最後は自分の手で行うことで、「自分でやった」という満足感を得ることにつながります。



この前段階として「大人の膝の上に座り、ズボンに足を入れて立ち上がり、一緒にズボン上げる」ということを経験し、その後、台などに座って行う段階につなげていくとよいですよ。



上着の着脱 大人が服を持ち、首や腕を通しやすい形にし、それに合わせて子どもが体を動かします。

- ①顔を出すのは大人と一緒にいきましょう。
- ②大人が袖の穴を広げて持ち、子どもが自分で腕を入れます。

